

富の原鬼橋線開通式

6/1

都 市計画道路「富の原鬼橋線(JR大村線立体交差)」が完成し、竹松本町で開通式を開催しました。この道路は、国道34号の交通混雑の緩和や交通ネットワークの向上を目的に、平成20年度から整備。周辺地域の幹線道路として大きな役割を担っており、今回の開通でさらに利便性が増します。



←テープカットで開通を祝いました。

大きな役割を担う幹線道路が開通

災害危険箇所状況視察

5/19

梅 雨の時期に合わせ、防災関係機関が市内の危険箇所の状況を視察しました。

今年は、大雨などの災害に備え、福重地区の重井田防災ダムの農林災害復旧箇所と、松原地区の狩底ため池を視察。県央振興局の説明を受けながら、各機関と共通認識を図りました。



←鉢巻山近くの狩底ため池を視察する一行。

大雨などの災害に備えて

木場トンネル他工事安全祈願

6/3

九 州新幹線西九州(長崎ルート)の「木場トンネル他工事」を着工するにあたり、安全祈願が岩松町で開催されました。

この工事は、三城町から岩松町までの延長3,188メートルのトンネル工事などで、平成31年2月に完成する予定です。



←地元関係者など約110人が出席し、安全を祈願。

新幹線トンネル工事の安全を祈願

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会要望活動

5/27-28

期 成会(会長:松本市長)は、県選出国會議員や国土交通省に対し、谷川弥一衆議院議員同席のもと要望活動を行いました。市の最重要課題である「国道34号大村・諫早間の4車線新規事業化」を含む幹線道路3路線の早期整備について、地元の切実な声を届けました。



←西村国土交通副大臣に面会し要望書を提出。

新国道34号大村・諫早間の4車線新規事業化の実現に向けて要望

第1回大村市総合教育会議

6/4

地 方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正されたことを受け、「第1回総合教育会議」を市コミセンで開催しました。この会議は、松本市長、溝江教育長、市教育委員の計6人で構成され、第1回会議では教育行政の方針を示す「大村市教育大綱」の策定に向けて議論を交わしました。



←教育委員会と連携して教育行政を推進します。

教育の推進に向けて議論

高齢者の見守りに関する協定締結式

5/29

市 は、生活協同組合ララコープ(29日)と、日本郵便(市内17局:2日)との間で、それぞれ「高齢者の見守りに関する協定」を締結しました。

これは、市が取り組む認知症総合対策の一つで、各社と協力体制を強化し、お年寄りを守るために、早期対応につなげていきます。



←協定書を交わし、見守り体制を強化しました。

高齢者の見守り体制を強化